

北に恵めし

(昭和五十八年新寮記念寮歌)

大崎益孝君 作歌
竹中秀文君 作曲

一

北に恵めし若き日の夢
いつかは壊れゆくものか
すがしき朝の光と風は
原始の森に消え去りぬ
今こそ我も旅立ちの時
心の宿よいざさらば

二

北の原野を流離い行けば
淡き花影さゆらぎぬ
今も変らぬその涼風に
昔の光偲はずや
流れる雲に孤り謳えば
果てなく夢は何処までも

三

北を望みし岬に立てば
うち寄す波は静かなり
されど遙けき今樺太の
色めく空を憂い眺ん
功利し多きこの人の世に
誠の迪を貰かん